

広報



かわにし

平成 6 年 9 / 10 No.433

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)
FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き
— 9月1日現在 —
男 4,323 (+9)
女 4,404 (0)
計 8,727 (+9)
世帯数 2,249 (+1)
() は前月比較



ハガキに添えます花一輪

8月24日、川西町老人サービスセンター・ファミリー川西で、おじいちゃん、おばあちゃんが牛乳パックを利用した紙すきに挑戦しました。

これは、生涯学習の一つとして、なかまの家アクトで行われているリサイクル教室の指導を受けて行われたもので、牛乳パックのフィルムはがしからハガキの作成までを計画しています。お年寄りの皆さんは、11月に予定される町民文化祭に出展しようと、配色や構図を検討中とのこと、出来上がりが楽しみです。



休日救急医

9月11日 第二藤巻医院(上野) ☎ 68-2018
15日 山口医院(袋町中) ☎ 52-2174
18日 中条病院(中条) ☎ 57-3018
23日 富田医院(神明町) ☎ 52-3269
25日 池田医院(本町西) ☎ 52-2581
10月2日 庭野医院(寿町四) ☎ 52-2711
9日 国保診療所(高原田) ☎ 68-2034
(クリニック川西)
10日 大坪医院(四日町) ☎ 57-6100

田口収入役が退任

田口一朗収入役は、健康上の理由から、八月一日に退任されました。

同氏は、木落の出身で、昭和五十八年に、町企画室長から収入役に就任され、十年八月にわたり、町会計の健全運営に力を注がれました。

退任のごあいさつ

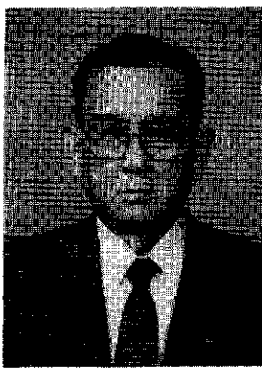
田口一朗

この度、一身上の都合により、八月一日をもって川西町収入役を退任いたしました。

昭和五十八年十一月十五日以来二期二年八か月の間、町民皆様方の温かいご支援、ご協力の下に、今日まで務めさせていただきましたことを、心から深く感謝申し上げ厚く御礼申し上げます。

願みれば、昭和二十五年四月、橘村書記として奉職し、さらに、三十一年九月、合併によって誕生した川西町の職員として、通算四十四年四か月勤務させていただきました。

この間、町行政も容易でない



ものもありましたが、予算額も年々大きく伸びており、平成六年度当初予算では、八十八億六千八百万円余り。就任当時の一般合計・特別会計を合せた額がこの十年間で、約二、三倍余りとなり、大変大きな伸率となっております。

また、これに伴って各種の公共事業等が実施され、大きな成果を上げておるところであります。

これらの事業実施に伴う会計運営に当たっては、各課の協力を得ながら資金繰りを行い、練達な会計課職員ともども、今日まで異状なく執務させてもらいましたことは、心から喜び感謝いたしております。これも関係皆様方の温かいご指導ご配慮のたまものと思っております。

最後に、町民皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。退任のごあいさつといたします。

一日職場体験イン役場

川西中学校菅井徹郎校長では、三年生の社会教育の一環として、夏休みの八月四日から十二日までの間に、町内外の二十六の事業所で、百二十二名の生徒が一日職場体験を行いました。

役場には、真明良彰くん(上町)・小野塚拓也くん(東善寺・山口貴志くん(仁田)の三人がみえ、建設課と開発課で職場体験をしました。

三人の感想文から体験談を抜粋して紹介します。

◆真明良彰くん(体験先 建設課)

建設課工務係の皆さんには、測量という仕事を手伝わせてもらい、僕達が毎日なにげなく通っている道路のことをいろいろ説明していただきました。おかげで、道路を一つ作るにも大変



測量の器械をのぞく真明くん

な時間がかかるということが分かりました。

また、役場でもらったパンフレットを、家に帰ってから家族と一緒に読み、役場のことが良くなりました。

◆小野塚拓也くん(体験先 開発課)

この日の仕事は印刷だった。川西町全体の世帯数を調べ、それより少し多い二二五〇世帯を印刷の数とした。

この日は風もなく暑い日で、仕事をした部屋は役場の1階にあり、冷房などない。こういった条件のもと、タオルで汗を拭きつつ印刷をした。印刷での仕事は、紙詰まりの処理と紙の補給。簡単なようだが暑くて汗がグラグラでてきた。

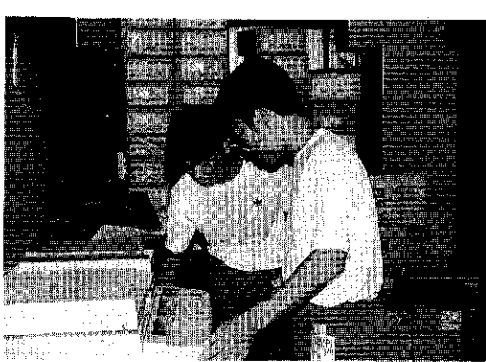
一生懸命仕事をしていると、何か良く分からないが「仕事をしているなあ」という不思議な充実感を感じた。とても大変だったけれど大切なことを得たような気がする。

この日は、三年になった自分の中で大きな一日だったと思う。また、この日得たことを今後の生活に生かせるようがんばろうと思う。

◆山口貴志くん(体験先 開発課)

開発課でまずやった仕事は、約二二五〇の川西町の世帯数の印刷です。途中紙が詰まり、汗をかきながらがんばりました。その後、印刷した紙を各地区ごとに分ける作業をしました。途中で数が分からなくなり、数え直したことが何回もありました。午後からは、封筒の印刷や印刷した紙と封筒をホチキスで留める作業で、これはリズムに乗って楽しく作業ができました。全体を振り返ってみると、担当の人が優しく教えてくれたのに、僕達の方がだらだらとやっていて悪かったと思います。

この日は、いつもの日よりいいことを学んだのでとても充実した一日だったと思います。



また紙が詰まったみたいだぞ。機械を点検する二人

平成6年度地域活性プロジェクト支援事業 2次募集分決定!!

この支援事業には、すでに8団体が取り組んでおります。7月の広報で2次募集したところ、5団体より応募がありました。

かわにし21委員会に諮る等内容審査の結果、下記の5団体の事業を支援することに決まりました。

平成6年度地域活性プロジェクト支援事業（2次）一覧表

番号	申請団体	事業名・場所	内 容	事業費 千円	補助金額 千円
1	レゲエバブリック オブ カワニシ 代表 清水俊治 会員 43人	レゲエフェスト イン ナカゴ 1st (場所)ナカゴグリーンパ ーク	ナカゴグリーンパークで初の大規模コンサート 期日 平成6年8月12日(金) 内容 レゲエコンサート 出演 ランキンタクシー・ナニワマン・ブッチャー外	4,150	500
2	川西モトクロス場 管理組合 代表 小林正夫 会員 10人	モータースポーツ振興事 業 (場所)川西モトスロク場	川西町のモータースポーツのメッカである川西モト クロス場の施設整備を図り、県内外から誘客を促進する。 ○モトクロスコース整備 ○管理施設整備（高床式）	672	358
3	川西町卓球協会 代表 渡辺一治郎 会員 26人	卓球によるスポーツ交流 事業 (場所)川西町総合体育館 外	卓球熱の高まっている川西町において、卓球を通し た地域間交流を図る。 平成6年9月9日～11日 県外卓球チーム合宿誘致 平成6年9月11日 新潟県ベテラン卓球大会開催	358	166
4	天神ばやし保存会 代表 若山三郎 会員 27人	天神ばやし保存事業 (場所)千手小学校外	芸能発表会参加。伝統芸能後継者育成 町内外各種祝賀行事等に出演する等により、保存活 動を実施 半天購入	238	94
5	川西町アマチュア無線 赤十字奉仕団 代表 桐生 大 会員 39人	倉下山レピーター改造事 業 (場所)大字野口地内	アマチュア無線技術向上、都市内通信難聴解消。災 害時等に備え、緊急通信訓練等に活用を図る。 ○400MHZ、1200MHZ用レピーター、アンテナ設置 ○無停電バッテリー装置等設置	2,462	670

地域活性プロジェクト支援事業とは

町内の青年会、PTA等各種団体が、それぞれの地域の特性や資源等を活用し、個性的で魅力ある地域づくりを行う場合に助成し、住民自ら行う地域づくりを推進する事業です。



「レゲエ」は、ジャマイカで生まれた軽快なノリのラテン系の音楽です。

ナカゴから発進

レゲエの新しい波

八月十二日、ナカゴグリーンパークを会場に、レゲエコンサートが催されました。

「レゲエ」あまり聞きなれない言葉に戸惑った方もいらしたのではと思いますが、青年団体連合組織YAROU K A Iや商工会青年部の皆さんを中核とした実行委員会（清水俊治実行委員長）を中心として大盛況でした。出演したランキン・タクシー、浪花男、ブッチャー、ゴローの皆さんやバンドのスタッフも、越後三山を望むこの会場が気に入ったようで、何曲ものアンコールにこたえていました。

ご存知ですか

『川西町農業農村活性化長期構想』



町では、二十一世紀の町農業と農村のあるべき姿を示した、「川西町農業農村活性化長期構想」を策定し、本年七月、皆さんに「川西町農業農村活性化長期構想のあらまし」と題した冊子をお届けしました。

その後、国は食糧管理法の廃止を打ち出し、現在これに変わる制度を検討中と伝えられています。

当町は、土地基盤整備の完了した東部地区と、比較的区画の小さな西部地区とに大別でき、生産体制も同じとはいえませんが、後継者の問題等、同じ課題を抱えており、今後の方向づけが大切になってきます。

この冊子を、集落や生産組織での話し合いの材料としてご活用いただくとともに、二十一世紀に向けた川西型農業の早期確立に向けての各種施策にご理解とご協力をお願いします。

「川西町農業農村活性化長期構想のあらまし」の詳細については、お届けしてある冊子をご覧ください。

ごはんで乾杯!!

この後、信濃川の河原で、アルミ缶を使っただごはん炊きに挑戦しました。初めは、本当においしく炊けるのかなと不安げ

まず、スライドを使って米についての事前研修を受けた後、三領の南雲隆三さんのほ場でスイカやナス、稲等を見学。続いて、木落の山家勝一さんのなめこの施設を見学しました。

- な子供たちも、いざ食べてみてニッコリ、おいしく炊けたようです。
- キャンプでも利用できますので、作り方を紹介します。
- ①炊く量に合わせアルミ缶を用意する。(3500cc缶で、米が100グラム程度炊けます。この際の水の量は120グラムです。)
 - ②缶をよく洗い、飲み口から米を入れる。これに水を加えてよく振る(研ぐ)。この作業を四回程度繰り返し、最後に水を入れる。
 - ③石等でコンロを作り、金網を敷き、この上に缶を乗せ、アルミホイルでふたをする。
 - ④約三十分程度加熱する。(時間は火力で違うが、蒸気によりアルミホイルが動く状態がなくなったら、炊き上がりの合図。)
 - ⑤金網から下ろし、約五分位そのままにして蒸らす。

アルミ缶で

ごはんが炊けた

すこやかライフ

観光交流会館の名称募集

ナカゴグリーンパークの観光拠点として建設している観光交流会館は、十月九日のオープンを目指して工事を進めています。広域観光案内、軽食等の休憩機能を持った施設として、皆さんに愛され、ご利用いただける施設となるよう、親しまれる名称を募集します。

◆建物の概要

木造平屋建（高床式）面積は六三四平方メートル

◆応募方法

はがき一枚に一点の作品を記入、住所、氏名、年齢、電話

番号を明記のうえ、役場開発課あてお送りください。
（川西町大字水口沢十二）

◆締め切り

九月二十一日（水）

◆賞品等

採用作品一点、佳作作品若干を譲ります。

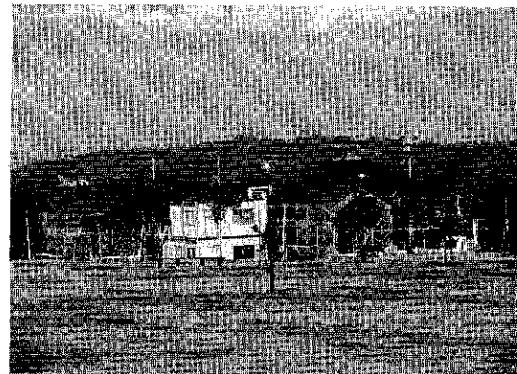
採用作品の作者には、平成七年度パターゴルフファミリー会員券（一万円相当）。佳作作品の作者には、粗品進呈。

◆発表

広報等で発表し、作者本人にも連絡します。

◆問い合わせ先

役場 開発課 振興係
☎六八一三二一一（内三）



建設の進む観光交流会館

来年八月の一部共用開始を目指し起工式

八月十一日、岩瀬地内と克雪センターを会場に、集落排水処理施設建設工事の安全祈願祭と起工式が行われました。

仙田地区の農業集落排水緊急整備事業は、平成四年度に基本計画を策定し、五年度に事業採択。中仙田、赤谷、岩瀬の三集落をエリアとし、二百二世帯、処理人口一千八十人を対象に計画され、総事業費は一七億二二〇〇万円を予定しています。

処理場は、岩瀬地内に敷地面積一四五〇平方メートル、総事業費は五億三五〇〇万円の予定で、平成七年八月頃より一部共用を開始できるよう建設を進める計画です。管路工事は、三集落の合計で七千八百メートル、工事費は一億八七〇〇万円を予定しています。

本年度は、赤谷、岩瀬の全部と中仙田の一部の管路工事を計画しており、平成九年度全面共用開始に向け、順次工事を進めて行く計画です。



力強く行われた起工式



「ヘー！ナメコってこうし
できるんだ」

ごはん大好き
おにぎりいっぱい
たべたいね



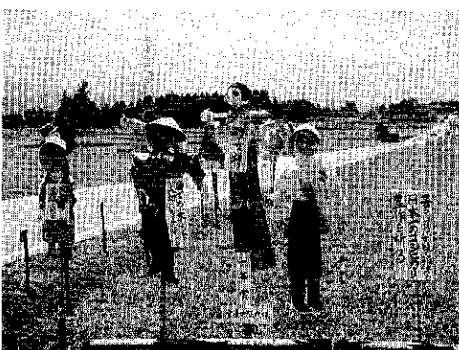
▲ 嘉六商店 かかしコンテストより ▼



ネエ本当に炊けると思う
すこやかホーヤ



今年こそ豊作
お米は大切に
しましょう



生涯学習推進大会開催

八月二十一日、総合センターで、第四回川西町生涯学習推進大会が開催されました。

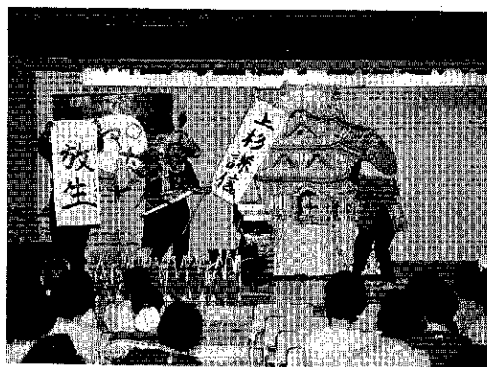
まず、リサイクル教室に参加している戸田美枝子さん（仁田）、中仙田高齢者学級で学級長を務める南雲ハルエさん（中仙田）、すすくすく教室に参加している押木靖江さん（元町）の三人より体験発表があり、戸田さんは、ファミリー川西でのお年寄りとの紙すき作業を、南雲さんは、地域の高齢者との交わりを、押木さんは、伸びやかな子供の姿と親との交流を、それぞれ熱く語ってくれました。



この後、上野青年会による、常にNHKの先をゆく大河ドラマ「節黒城風雲録―戦国篇PA

RTTII」が上演され、史実の中に笑いを盛り込んだストーリーに、参加者の大きな拍手が送られました。

謙信の愛馬として、川中島合戦などで活躍した名馬「放生」は千手から献上されたと言われている。（劇中説明より）



最後に、「新潟県生涯学習推進プランと川西」と題して、新潟県中越教育事務所社会教育課長の熊倉 官さんの記念講演を聞き、生涯学習の必要性を再認識していました。



がんばるジュニア選手

八月二十一日、上越地域を会場に、第十四回の新潟県スポーツ少年団総合体育大会が開催され、町からは、卓球・柔道・空手道の三つのスポーツ少年団が出場し、日頃の成果を発揮し優秀な成績を納めました。

◎成績（順不同、敬称略）

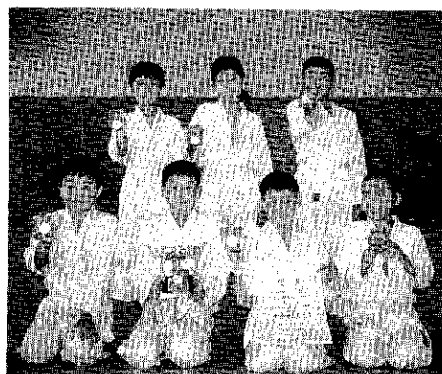
○卓球（会場・新井市民体育館）

- 団体の部
 - 中学生男子 第二位
村越祐介（二）・木村幸太郎（三）・平野靖夫（三）・五十嵐勝行（三）・和久井直也（三）・木村安品（三）・丸山 渉（二）
 - 中学生女子 第一位
池竹千津子（三）・柳 香織（三）・上村礼子（三）・高橋倫子（三）・大久保和代（三）・今井妙子（二）・池竹祐子（二）
- 個人の部
 - 中学生男子
第一位 村越祐介（二）
 - 中学生女子
第一位 池竹千津子（三）
 - 第二位 柳 香織（三）
 - 第三位 上村礼子（三）
 - 第四位 大久保和代（三）

- 小学生男子
第三位 高橋拓也（橘小六）
- 柔道会場・上越市総合体育館

●団体の部

- ・四年生以下の部 第一位
小林 倉（千手小四）・南雲悠延（リ）・五十川 潤（リ）・高橋保弘（千手小三）・高橋直隆（千手小四）・茂野知幸（リ）・小林一将（リ）



第一位に輝いた柔道チーム

○空手道（会場・上越リージョンプラザ）

- 個人の部
 - ・小学校低学年女子 型の部
第二位 保坂ゆかり（橘小二）
 - ・小学校低学年男子 型の部
ベスト8 佐藤雅之（橘小二）
 - ・小学校高学年男子 型の部
ベスト8 星名佑太（千手小四）
- 田中 諒（橘小四）

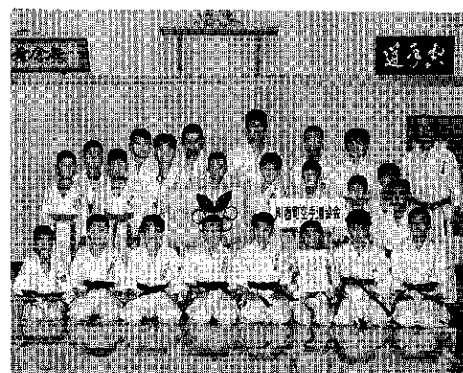
仙田が十一年ぶりに優勝

八月二十七日、庚塚運動場と橋運動場を会場に、第二十四回川西町少年野球大会が行われました。

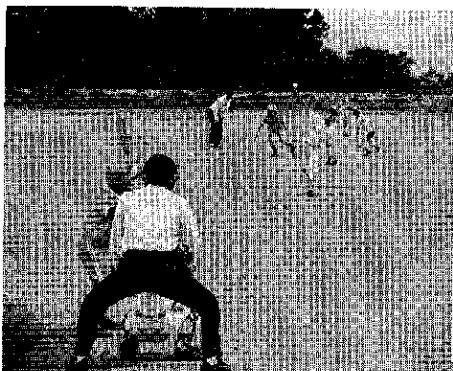
大会には、千手と橘から二チーム、上野と仙田から一チームの計六チームが参加し、うだるような暑さの中、熱戦を展開し、Aブロックでは仙田ファイターズが優勝しました。仙田の優勝は、十一年ぶり二度目。健闘した十九人（女子選手六人を含む）の選手には、北村教育長よりメダルが贈られました。

◎成績

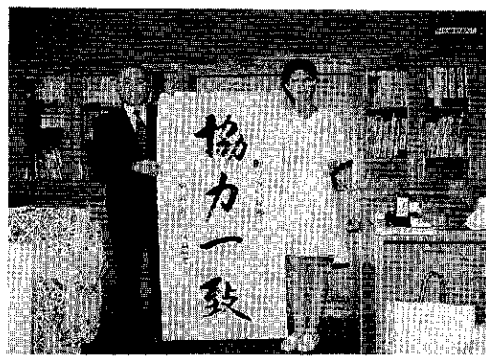
- Aブロック
第一位 仙田ファイターズ
第二位 千手タイガース



千手対仙田。七回表一アウト・ランナー二塁。力投する庭野哲くん(仙田小六年)。



- 第三位 上野
- 第四位 橘ホワイトサンダー
- ス
- Bブロック
- 第一位 千手ライオンズ
- 第二位 橘ブルーサンターズ



ハルピン市からニイハオ

八月十一日、中国のハルピン市から、祖母の生まれ故郷の中里村を訪ねていた馮珊珊さん一家が、町長を表敬訪問しました。馮珊珊さん(十四歳)は書道家、筆勢鮮やかに「協力一致」としたため、町に贈ってくれました。

ナカゴのバターゴルフ場を高齢者に無料開放

高齢者の長年にわたる社会貢献に感謝し、七十歳以上の方を対象に、九月十四日から十六日までの三日間、ナカゴグリーンパークのゴルフ場を無料開放します。

谷川岳や八海山を眺めながら、

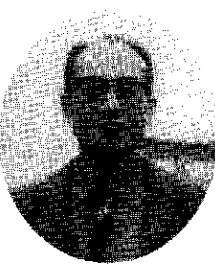
18ホールのバターゴルフをお楽しみください。

問い合わせ先
役場 開発課 振興係
☎ 68-3111 (内線32)
ナカゴグリーンパーク
☎ 68-4419



しめ縄講習会

八月三十一日、旧白倉小学校体育館で白倉しめ縄生産組合田中(武会長)による講習会が行われました。受講者は三十一人、仁田、赤谷、岩瀬、小白倉などの外、川口町や小千谷市からの参加者もあり、講師の田中さんから作製手順を教わりました。



〔回想〕
海防艦第二〇五号
機東京経済

小白倉出身で、東京都足立区にお住いの江口 晋さんから自作の本が届きましたので紹介します。



安全運転してね

秋の全国交通安全運動

期間 9月21日(水) から9月30日(金)

タやみに 見えぬ人影 ひそむ事故

切れていませんか。あなたのバイクの自賠責。

『自賠責 小さなシールで 大きな安心』

ミスかわにしが一日警察署長

八月一日、役場で、一日警察所長の任命式が行われました。任命されたミスかわにし(の星名 薫さん(学校町))は、さっそく街頭に立ち、陣頭指揮に当たりました。

これは、八月一日から十日までの「夏の交通安全事故防止運動」行事の一貫として行われたもので、臨時の交通指導所を設け、通過するドライバーにシートベルトの着用と事故防止を呼び掛けました。

9月15日は
敬老の日





◀木落で開演「歌舞伎一座」



▶上野しちんちまつり



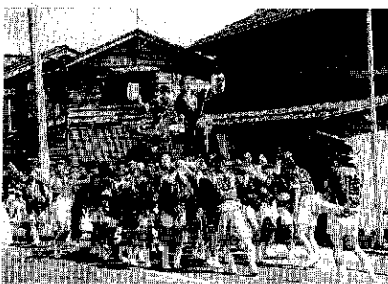
30回を数える名物「仮装大会」

各地のまつり

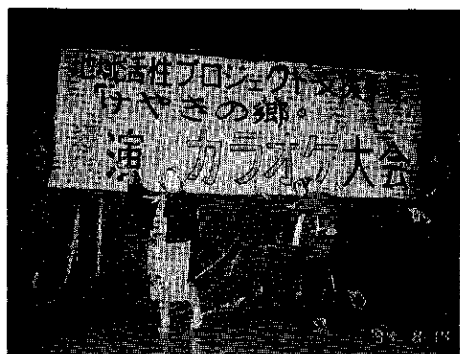


見物客でにぎわう俄（にわか）

▶千手まつり



▶赤谷十二社でのお盆行事



国保制度紹介シリーズ 第5弾

ご相談は
役場住民課 国保係
☎68-3111（内線20）

国保と交通事故

国保で治療が受けられます

交通事故や傷害事件など第三者から傷害を受けてお医者さんにかかった場合でも、国保を使って治療を受けることができます。

届け出はすみやかに

届け出に
必要な
書類



交通事故による傷病で国保で治療を受ける場合、すぐ警察に届け出て「交通事故証明書」を受けると同時に、国保担当窓口へ「第三者行為による傷病届」を提出しなければなりません。

医療費は加害者が負担

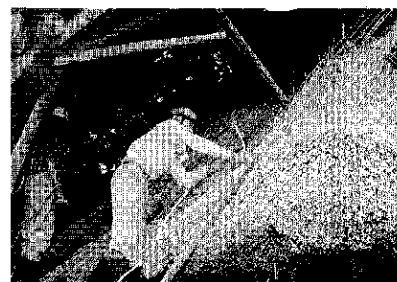
交通事故など第三者から傷害を受けた場合、その医療費は被害者に過失のないかぎり加害者が全額負担するのが原則となっています。

したがって、保険診療した場合、加害者が負担すべき医療費を国保が一時立て替えて支払うだけで、あとで国保がその医療費を被害者に代わって加害者へ請求することになります。

示談は慎重に

加害者と被害者との話し合いがついて、示談を結んでしまうと、その示談のとりきめの内容が優先することがあり、示談の成立以後は加害者に請求できなくなる場合があります。第三者から傷害を受けた場合は、示談を結ぶ前にかねらず国保の窓口へ届け出るようにしましょう。

カメラ散歩



千手観音、仁王門の屋根のふき換え急ピッチ。



秋作業の安全を祈る。



女の子もハッケヨーイ。東善寺十王堂の相撲

交通事故に
あったときの
3つの
注意点

- 1 警察に届けて、「交通事故証明書」をもらう。
- 2 国保に「第三者行為による傷病届」を提出する。
- 3 示談は国保に相談してから。

千手村の学校問題③

岩瀬 金子 幸 作

中野校の沿革

中野校は、明治九年に新町新田校の分校として霜条地内に創立され、当初は霜条校と称し、鶴吉、霜条、坪山、高原田が通学区域であった。明治十四年一月に千手校に統合するが、中野村が成立すると伊勢平治校（明治十八年創立）を統合して尋常科中野小学校に昇格したようである。

中野校沿革史（千手小学校蔵）

におよそ次の記載がある。

一、学校名称 明治二十二年六月三日 中魚沼郡第十二学区簡易科中野小学校ト称ス

明治二十五年四月一日 村立中野尋常小学校ト称ス

一、所在地 明治二十二年六月十日 中野村大字高原田第二百二十八番戸 村山伝吉宅

明治二十五年五月十二日 同村同字第二百二十八番戸 村山市蔵宅

明治二十五年十月二十七日

同村同字第二百〇八番地ニ新築ス

生徒 明治二十二年 男五五人 女二人 卒業ハ男五人 女一

人

二十三年 男五六人 女一〇人 卒業ハ男三人ノミ（中略）

大正十一年度入学生

男一二人 女一三人

第一学級 一年二六 二年二九

担任ハ鳴海ハツ訓導

第二学級 三年二九 四年二六

担任ハ南雲省三訓導

第三学級 五年三二 六年二八

担任ハ校長兼訓導 星名州治

十二年三月三十一日 本日ヲ

以テ中野校廃止トナル 回顧ス

レバ本校ハ明治二十二年創立

本年迄約三十四年 ソノ間卒業

生ヲ出ス五百六十人ノ歴史ヲ有

ス 今ハ時勢ノ進運ニツレ元千

手町校ト共ニ統一セラル

（中略）

左記ノ御勅語返納ス

教育勅語 騰本 一通

戊申詔書 騰本 一通

大正元年御踐祚勅語騰本 一通

教育ニ関スル御沙汰 一通

まぼろしの校舎

本校舎ハ九間ノ三間半デアル

男運動場ノ床面積ガ三十一坪

五合、残りガ女運動場ニナル

教員室四坪 宿直室二坪二合

五勺 湯呑所四坪八勺 小使室一坪五合 通路一坪二合五勺 一階ハ四間ノ三間半（下四坪）ノ教室ガ二ツ 三間半ノ五間（十六坪五合）ノ教室ガ一ツ 廊下ハ二間一尺ノ九尺デ三坪二合五勺 水屋ト井戸ガ一間五尺ト七尺 男子ノ下駄箱 雨具掛ガ一坪二合五勺 手洗ガ五合 男女別ニ作ラレタ便所ガ四坪 計五拾八坪七合五勺トナル

金山良晃師の回想

清竜寺住職の金山良晃師（前川西町教育委員長）が、当時の中野校を次のように回想する。私は、大正十二年三月の最後の卒業式で、同級生の星名栄吉、市川富一、高橋ミセ、山岸セツの各氏もご健在だ。中野校は佐渡屋の前から西へ、道路の左側の南手に在った。今の茂野工芸の工場の位置がそれで、住宅の所が校舎の右側に当たる中野村役場だった。役場と学校が一棟で東西に長く北向きに建っていた。杉林に囲まれ、入口は役場と学校の二カ所に在った。校舎の西側に小川が流れており、細い道が並行し、低い土手に沿っていた。高学年が兵隊ごっこをして、トッカーン（突撃）と叫びながら棒切れを振りまわして、東から西へ向かって土手に飛び上がったものだった。

大礼服の中村少尉

三大節や卒業式の時は一階東側の二教室の仕切りが取り払われて式場になった。天長節や紀元節には坪山の中村林平氏が陸軍少尉の大礼服に鳥の羽の付いた軍帽をかぶって臨席され、長い軍人勅諭を奉読した。校長先生の教育勅語や、私の師の良念和尚の祝辞も長くて閉口したものだ。

階下は屋内運動場で、教員室、小使室、便所等があり、役場へ抜けられるようになっていた。運動場の中央に大きな柱があって遊ぶ時に邪魔になった。

通学時は風呂敷包み、草履、下駄、桐油、唐傘、山笠が付きもので、冬はスッポン、すげほし、初雪のころは下駄に雪がついて歩いて歩くのに閉口した。女子は両袖がはくつてある改良服を着、下はモンペで通学した。

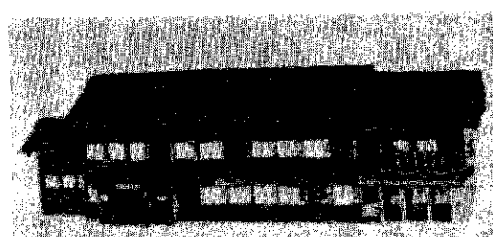
用務員は高原田の沖見屋のお婆さんで、何かと世話になった。

教室の窓から、今の川西中学校の生徒昇降口あたりに茂っていた大きな一本杉が見えて、そのテッペンに白いサギがときどき止まっているのを見た。幌の付いた自動車、ホコリを舞い上げて小千谷の方へ走って行くのがめずらしかった。

国語読本は「ハタ、タコ、コ



今も残る伊勢平治校舎
（伊友 羽鳥敬一さん所有）



中野校(左)と中野村役場(右)
（川西町史 転載）

マ」で、字を書く時は石板と石筆を使った。ある日、「お前は落着きがない、キヨロキヨロするな」と先生に言われて、水の入ったバケツを持って立たされたことが一度だけある。千手校の高等科で二年学び、実力をつけて旧制小千谷中学に入学した。

図書室 だより

新刊ノンフィクション紹介

○日本一短い母への手紙

大巧社 丸岡町編

「一筆啓上火の用心 お仙泣かすな鳥肥やせ」作左衛門が陣中から妻に宛てて送った手紙。その発信基地としての福井県丸岡町が、日本一短い心のこもった手紙文コンクールを実施した。その入選作。本音に打たれます。

○ものの食う人びと 共同通信社

辺見庸

バン格拉デシュ・ソマリア等々。世界の飢餓線上にさまよう国々を訪れ、ともに食らい、語らいながら取材した食の黙示録。

「長年の飽食に慣れた舌と胃袋を、異郷の地に運び、ぎりぎりいじめてみたくなった」と、著者は語っています。

○わたしの眼は十年先が見える

—大原孫三郎の生涯—

飛鳥新社 城山三郎

日本初の西洋美術の殿堂、大原美術館。その設立者の生涯。社会の中での企業者のあり方を追求し続けた気骨の経済人の青春と面目を描き、企業文化の意味を鋭く問ひかける。

○さなぎの家 共同通信社

西山 明・田中周紀

中学三年生の少年が同級生二人に暴行を加えて殺害した。このいじめの実態とその背景を徹底追跡取材したルポルタージュ。新潟日報にも連載された集大成版。

ムラ言葉その4

小海正太郎（小根岸）さんの

発刊された、ふるさと言葉改訂版「中魚沼のムラ言葉抜粋5千字」より、ごく一部を抜粋して掲載しています。

今回はその第4回目です。

どういがんだ（ドウ言うノダ）

どうける（フザケル）

とうど（手伝い人）

どくだん（ドクダミ）



かわい 俳壇

高崎正風選

この道も堀りかへされて残暑かな
終戦日一人ぐらしも長かりし

野口 野沢 寅生

足早に過ぎし夕立惜しみけり
みんなの声贈りて猛暑かな

岩瀬 登坂伊智子

炎昼や息詰め入れる阿弥陀の眼
越後より檀家廻りの盆の僧

足立区 駒形 頼太

戦争に負けし螢の夜なりけり
クニヤンの胡弓聞こゆる月高し

霜条 大海 白濁

生徒等の二度時ソバに喜雨到る
大根蒔く術なき空を仰ぎおり

寺尾 白井すみい

京に住む孫と接ぎの笹簾
浮く雲のしばし動かず秋暑し

山野田 藤田ひろ志

桐一葉背中に落ちておどろきぬ
ピカドンの言葉も古りし原爆忌

霜条 星名 星光

コスモスや分婉室の孫の声
野口 村越 由喜

仁田 小幡しん女

とつときの人（とつておきの大切な品物）

ながもん（お前のような者）

ながもん（麺類全般）

なきべつ（泣き顔）

なまじやうだい（いかがですか？）

なんかうり（行商人）

にーおろし（煮下し）（熱い食べ物）

天狗山はるかに仰ぎ船遊び

綾瀬市 野沢ますえ

葉の蔭となりし胡瓜の肥りおり

豊作を祝う祭のふれ太鼓

仁田 戸田 貞

水舟に浮べてありぬ大西瓜

高倉 斎木 和人

雨当てにして遅くれたる大根蒔く

上町 高橋 順似

大根を蒔く雨の日を待ちにけり

懐かしき人に出会いしお盆かな

大倉 中条 石平

満月を映してゆれる野天風呂

浦和市 登坂 博史

仏前に新茶供へて安らげる

元町 金子 鉄平

橋に見るスターマインや結まつり

厚木市 川崎 保一

風渡る茗荷畑に由すだく

野口 野沢 静江

大旱あらわとなりしダムの底

新町 若山 向山

望郷の青き灯つらね帰省バス

八王子市 松浦 サク

挽ぎたてのトマトがふりと帰省かな

志木市 山田十久二

山下りて息もつかせず清水飲む

ねじまる（力む）

ねばうこき（朝寝坊の人）

のおこと（ナオサラ）

のろっこい（熱くない飲み湯・風呂の湯）

のそらのそら（ユックリした動作）

のべつまくなし（間断なし）

のみよ（飲み湯）

木落 丸山 詩朗

コシヒカリ知っておりたる稲雀

練馬区 須藤 遊人

盆提灯濁世の闇をともしけり

足立区 澤井ハル子

晴れつづく今年の甘き西瓜切る

小白倉 田中 優美

天の川叙勲を讀え流れけり

伊勢原市 金子 桂吉

茶柱に競泳の子を励ませり

上野 内山 寛平

暑き日々なれどふと秋風ありし

上野 入沢 はや

秋祭母娘の踊るしぐさ似て

小白倉 江口みゆき

出来競う案山子農道幹線に

高原田 引間 子丹

貧に耐え残暑にも耐え老二人

赤谷 登坂 酔月

寸感 正風

・この道も——雑然とした道路工事に「残暑」が利いている。

・みんなの——蟬の声の途切れたのを「暑さに黙く」とは面白い。

・越後より——故郷の菩提寺の懐しい和尚さん。「越後より」がいい。

・クニヤンの——今も耳に残る胡弓の音。戦地での追憶の一句。

ねじまる（力む）

ねばうこき（朝寝坊の人）

のおこと（ナオサラ）

のろっこい（熱くない飲み湯・風呂の湯）

のそらのそら（ユックリした動作）

のべつまくなし（間断なし）

のみよ（飲み湯）

善 意

一般寄附

渡辺クラ（栄町） 10万円

広報発行に

高橋治（志木市） 1万円

佐藤喜美枝（三条市） 1万円

学校給食に

仕込みみそ 230kg

（町内・匿名希望）

引き揚げ者の皆様へ

税関では、終戦後の混乱期に戦地から引き揚げてきた方々が、当時国内に持ち込むことができなかった税関などに預けた通貨や証券などをお返ししています。

これは昭和二十八年から実施されているもので、お心当たりの方は、お気軽にお問合せください。

お返しする通貨等は次のものです。

◎終戦後、外地から引き揚げてこられた方々が、上陸地の税関・海運局に預けた通貨・証券など。

◎外地の集結地において、総領事館などに預けた証券などの

うち、その後、日本に返還されたもの。

これらの手続きは本人だけでなく、家族の方々も問い合わせることが出来ます。また、実際に預けたかどうか不明の場合でも調査できることもあります。

なお、上陸港が新潟以外の方でもお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

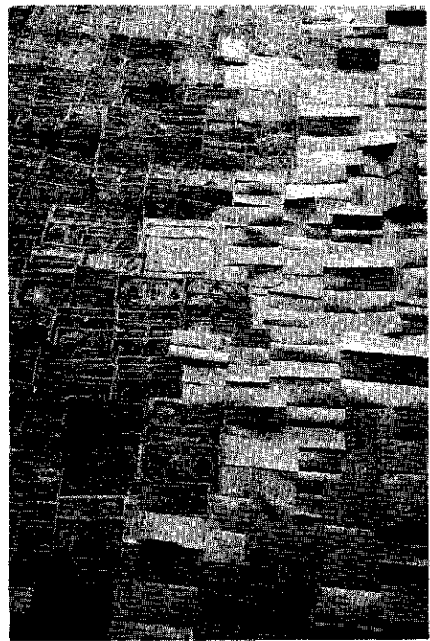
新潟税関支署統括監視官部門

〒950

新潟市電が島1-5-4

新潟港湾合同庁舎内

☎025-244-9314

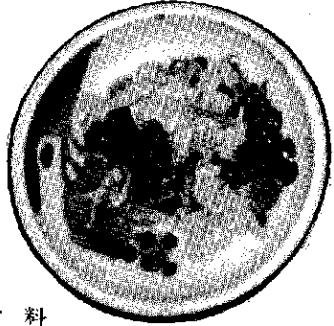


引き取りを待つ通貨や証券類

手軽にできるお味噌汁の味

13

糸瓜の五目なます



- 材 料
糸瓜 油揚げ 干しいたけ きくらげ 人参
ほうれん草 (又はきゅうり) しらたき
- 調味料
ごま 醤油 砂糖 みりん 酢
ねり辛子 塩
- 作り方
①糸瓜は5cm位の輪切りにし、縦に四ツ切りにする。
②①をゆで、箸がかたく通ったら水に取り、身をほぐしながら皮を取り除き、ざるに上げしっかりしぼる。
③④きくらげは5mm位に切る。
⑤油揚げは油ぬきをし、たんざくに切る。
⑥干しいたけはもどし、細切りにする。
⑦しらたきは4cm位に切り、塩もみをして水で洗う。
⑧①、⑤、⑥に、しいたけのもどし汁、醤油、砂糖、みりんを加えて汁がなくなるまで煮る。
⑨人参は長さ4cm位の細切りにしてさつとゆでておく。
⑩ごまはフライパンであたため、すり鉢で良くすり、ねり辛子を入れてさらに良くする。
⑪⑧の中に②、③、④を入れて良くかきまぜ、塩少々と酢で味を整え、そのまましばらくおき、味をなじませる。
⑫ほうれん草はさつとゆで、細かく刻んで、盛り直前に加えてまぜる。(きゅうりも同じ)

9月は

「がん征圧月間」です!!

「癌」という文字は、「疔」と「月」の二字を組み合わせて意味をもっています。「疔」は、人が寝台に臥せて寝ている様子を表し、「月」は岩の本字で、これ自体が山に口(大石)の重なる様子を表し、いわおの固さを意味しているようです。したがって、「癌」は、体の中に固いしこりのできる病気を意味し、岩のように強固な治りにくい病気と解釈されるようです。

また、がんは、昭和五十年前半まで日本人の死亡原因の第三位でしたが、現在は第一位となっています。厚生省のがん患者の将来予測によれば、胃がん・子宮がんが減少し、変わって肺がん・乳がん・大腸がんが増加する傾向にあります。

しかし、昔と違い、がんは決して不治の病とはいえなくなり、がんの診断・治療法も検査方法も精度が向上したことがその背景にあります。早

「がん年輪」といわれる四十歳を過ぎたら、年に一回は必ずがん検診を受けるようにしてください。

町では、後期のがん検診(胃がん・大腸がん・子宮がん・乳がん)を十月より実施いたします。今年、まだがん検診を受けていない方は、健康確認のために進んで受けてください。

●がん予防のための12か条

- ① バランスのとれた栄養をとる。
- ② 辛いものは少なめに、熱いものはさましてから。
- ③ 毎日、変化のある食生活をする。
- ④ こけた部分は避ける。
- ⑤ 食べ過ぎを避け、脂肪はひかえめに。
- ⑥ かびの生えたものに注意。
- ⑦ お酒はほどほどに。
- ⑧ 日光に当たりすぎない。
- ⑨ タバコは少なくする。
- ⑩ 適度にスポーツをする。
- ⑪ 適量のビタミンと繊維質のものを多くとる。
- ⑫ からだを清潔に。

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

小堀 千里 良和 長女 霜 条

野沢 誠 弘子 長男 野 口

平本 隼 正 明 二男 仁 田

高橋 祥平 久也 長男 中仙田

上村 祥子 敬子 長女 下平新田

中条 美華 充 長女 木 島

田口 邦衛 隆 治 長男 木 落

柄沢 達也 好 浩 長男 沖 立

佐藤明日夏 利 奈 浩 長女 仁 田

押木 翼 正 長男 元 町

小林誠一郎 俊 久 長男 中島町

村越 拓海 嘉 貴 長男 野 口

長谷川みづみ 東 シズ子 長女 赤 谷

昇天 二めい 福を祈る

内山 辰雄 65(本人) 新町新田

柳田 廣 73(本人) 山野田

渡辺 ツタ 75(本人) 四郎兼

中村 由蔵 86(茂) 坪山

高橋 サキ 87(透) 仁 田

斎喜 クニ 90(一男) 室 島

(8月1日、31日届け出分)

上野出身で、長く東京新潟県人会川西町郷友会長を務められた、千葉県市川市の田村三雄さん(八十三才)が死去。こめい福を祈ります。

各地で戦没者を慰霊

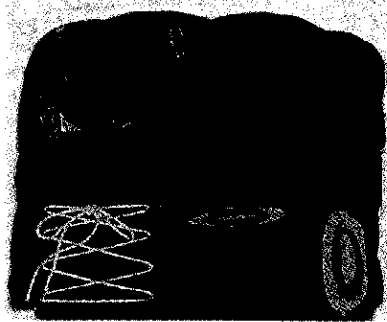
戦後も半世紀を迎えました。終戦記念日の八月十五日には、千手、上野、仙田の各地区で戦没者慰霊祭が行われ、翌十六日には、橘地区で戦没者追悼式が行われました。

また、十五日、小白倉地区では、戦没者五十回忌法要が営まれ、関係者約七十人が参列し、日露戦争で戦死された江口壮治さんをはじめ、集落に関係の深い十七人のご冥福を祈るとともに、平和な社会を願いました。

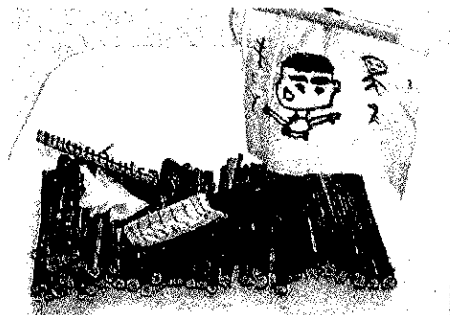
ちいさな展覧会

74

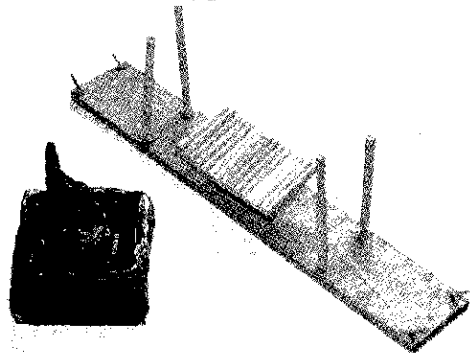
橘 小学校



▶5年生 丸山ひとみさん

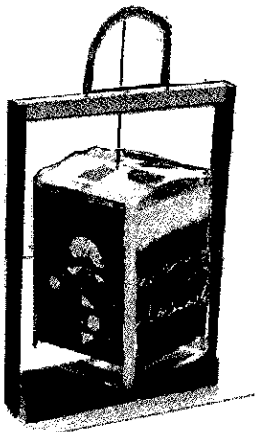


▲2年生 丸山 真 くん

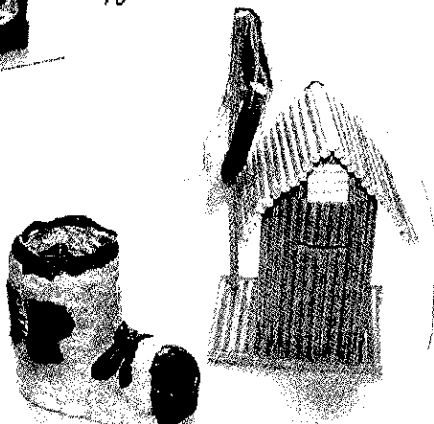


(10月号は仙田小学校です)

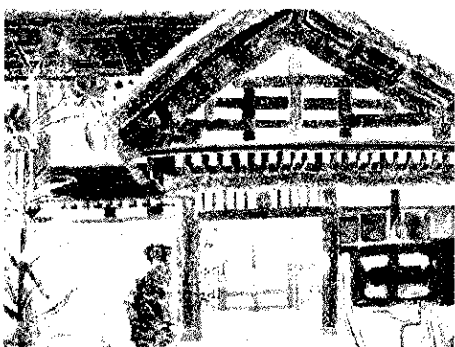
◀4年生 丸山敦史くん



▶3年生 羽鳥奈津希さん



◀6年生 五十嵐絵理子さん



▶1年生 むらこしじゅんやくん